

千葉地本第77回定期地方大会 Part1

分会再編後 初となる地本大会開催される

9月9日 土 10時30分 千葉市民会館3Fにて開催

■大会は前日からの大雨での開催

千葉地本内では分会再編後、計7分会となり、分会再編後の初となる第77回千葉地本定期大会が9月9日(土)「千葉市民会館」において10時30分に開会されました。

当日は前日にかけての台風の影響で大雨となり、特に外房線などでの線路冠水など、一時運転見合わせの状況の中、車を利用しながら会場に向かわれた方々もおられました。大変お疲れ様でした。

■設備分会より代議員として2名が参加

当分会である千葉設備分会は結成時組合員43名で構成されました。その為、当分会の代議員委員は2名選出となり、新小岩保線班として寺林さん(西船橋保技セ)と千葉保線班の三好さん(千葉保技セ)が代議員となりました。

■大会議長は、設備分会の三好さん

大会議長として三好さんが選出され、議事が進行されました。議長挨拶の中では「職場では、年配者が退職して要員不足だが新規採用者が徐々に増えてき。私の所属するメンテナンスグループでは、8月末で30代の若手社員が別の会社に転職する理由で退職した。だが、他のメンテナンスグループと比べて私のグループは『超勤が少ない』という理由から『人員の補充はしない』ということが言われた。今後も私を含め、年配者が退職していく中で『仕事がすぐ終わるのか?』と懸念する」「コロナ感染で赤字を理由に工事予算が大幅に削られ、それ以降は線路近接の草刈りが施工されず、その影響で枝や草が伸びて車両に接

触し安定輸送に支障する。線路巡視などで、車両に接触しそうな枝や草など手刈りしているが、追いつかない状況だ。その結果、沿線住民からの苦情も頻繁にある」と現場での問題点を報告しながら挨拶されました。



■コロナ感染を重視しての短時間開催

その後、加藤委員長挨拶と東日本本部代表として武田書記長が来席され挨拶を受け、機関紙コンクールと2022年度会計決算報告・会計監査報告と続き、2023年度の予算(案)・2023年度方針(案)を提起され、質疑応答では千葉設備分会新小岩保線班の寺林さん(発言内容は次号PART2に連載)含む6名の代議員より発言がありました。大会の詳しい内容については「国労ちば」千葉地本第77回定期大会(2600号・10月1日付)の記事を参照してください。

最後は北嶋書記長集約、2023年度役員改選と運動方針を確立し、加藤委員長の団結ガンバローで13時10分頃に終了となりました。今回の大会も前年度と同じようにコロナ感染対策を重視しての開催となりました。

		2023年度新役員	
執行委員長	加藤 晃一	津田 沼	
執行副委員長	松田 優一	設 備	
書記長	北嶋 利則	電車区	
執行委員	嶋田 福実	設 備	
執行委員	中島 英二	津田 沼	
執行委員	高橋 弘幸	津田 沼	
執行委員	佐川 正則	津田 沼	
執行委員	北村 智之	津田 沼	
青年部長	飯田 秀樹	設 備	
会計監査	鈴木 浩	津田 沼	
会計監査	太田 久市	津田 沼	